



企業のバックオフィスを改善し 新たな人的資産を創出する

株式会社ワクフリ 代表取締役 高島 卓也氏

煩雑なバックオフィス業務を クラウドサービスで改善

今年10月から消費税が10%に引き上げられ、軽減税率制度がスタートします。飲食料品などを対象に税率を8%に据え置き消費者の税負担を軽減するのが狙いですが、飲食業界においてはバックオフィス^{*1}業務を煩雑化させる一因として課題となっています。例えば店内で飲食する“外食”の場合の税率は10%ですが、テイクアウトの場合は軽減税率対象となり税率は8%。同じ商品でもふたつの税率が混在します。

企業のバックオフィス改善を行う株式会社ワクフリの代表取締役 高島卓也さんは「税率の改正期に会計を人の手に頼ってればヒューマンエラーが起こ

る可能性が高まります。小規模な店舗では電卓と手提げ金庫といったアナログな方法で会計処理を行うところもまだまだ多い状況です。しかし高額なレジ導入はハードルが高い。だからこそ簡単かつ費用を抑えて導入できるレジのクラウド^{*2}化をおすすめしています」と話します。

ワクフリはレジをはじめ、勤怠管理や顧客リスト、業務報告書などのクラウド化を支援しています。いずれも既存のサービスを使った改善方法を提案。

「自社でオリジナルアプリをつくると、開発費用がかさむだけでなくシステムの改修などでランニングコストもかかってくる。さまざまな既存の業務支援ツールを使うことで、導入費用を抑え、常に最新のシステムが利用できるような

ります」と高島さん。表計算ソフトや紙のシートで顧客管理をしていたり、勤務時間もスタッフが手作業で集計したりという企業や店舗はいまだ多く、バックオフィスにはIT化による改善の余地が残されていると言えます。

「まだまだ効率化できるもの、人が手作業でやらなくても良いものがたくさんある。クラウド化することで集計業務はなくなり、社員間や店舗間の共有もリアルタイムで可能になります」。

ワクフリはこうしてバックオフィス業務をクラウドサービスで効率化し、余剰人材を営業や企画などの部署に配置するという、新たな人的資産の創出を提案しています。高島さんは「事務業務をこなしている人は、さまざまな業務の処理を並行して行うなど能力が非常

【プロフィール】

長崎県出身。佐世保高専を卒業後、自動車関連のシステム開発エンジニア、アパレル店員、税理士法人職員などを経て、2014年に独立。事業再生などに携わり、2017年12月、バックオフィス業務の改善サポートを行う株式会社ワクフリを立ち上げる。2018年8月より、株式会社マネーフォワードグループに加入。



1 ワクフリのスタッフはオープンスペースで作業。決まったデスクを置かないなど職場においても自由な働き方を実践している

3 ワクフリの社名は“ワークフリー”に由来。「働き方を自由になりたい」という願いが込められている。ロゴは枠にとらわれないクマがモチーフ

2 事務所は日本最大級の coworking & ワークスペース「The Company」内に設置。開放感あふれる作業スペースを確保

4 レジのクラウド化などを進めるワクフリ。「設定ミスなども多いので、困ったときには一度ご相談ください」と高島さん

に高い。バックオフィス業務を整理することで利益を生む部署への配置が可能になるなど、高い波及効果が期待できる」と言います。

※1 営業などの部署の支援を行う部門。人事・経理・法務・総務などの管理業務。

※2 インターネットなどを使ってさまざまなデータ・サービスを活用すること。

業務改善は環境改善 人材採用にも効果を発揮

高島さんがバックオフィスの業務改善に取り組み始めたのは、もともと事業再生の仕事をしていたことがきっかけ。

「企業を建て直そうとしても良い人材がすでに退職している場合が多く、業務効率化のためにITを活用せざるを得ない状況に直面しました。そういった企業は人手が足りず、うまく仕事が回っていません。その中で組織の環境整備がいかに重要か気づくことができました。後継者が上京するなどして事業継承ができない企業もたくさんあります。バックオフィス業務のお手伝いをすることで九州の企業を元気にし、人を集め、地方を活性化していきたい」。

また人材の採用面においても、企業

の環境改善が課題として顕在化し始めていると言います。

「バックオフィスの業務改善を行う中で、採用についての相談を受けることがあります。給料などの待遇も大切ではありますが、いまの求職者は働きやすい職場を求めています」と高島さん。事実、ワクフリの営業募集時には140人が応募。「新しい会社というものもありますが、業務改善に取り組む会社として“働きやすそう”というイメージから、多数の応募をいただきました。スマホが当たり前の世の中になり、ビジネスで使うツールも進化しています。その中でいまの時代に合わせて仕事のやり方も変えていく必要がある。求人においても、働きやすさは今後ますます重要になってきます」。

新たな市場を生み出し 当たり前のサービスへ

クラウドサービスを提供する企業は多数ありますが、サービスと企業や店舗を結びつけるという業態はあまりありません。高島さんは「当社がこのビジネスを確立し、モデル企業となって競合

他社と一緒に市場をつくり盛り上げていきたい」と意気込みます。

「ITは難しいものと決めつけている人が多いのも事実で、その意識は地方になればなるほど顕著です。東京などIT知識の高い場所でやるべきという声もありましたが、九州からスタートすることでどこでも通用するサービスになる。テクノロジーの進化は生活を便利にします。苦手というだけで無意識にIT導入にブレーキがかかっている場合も多いので、実際に使って簡単で便利であることを体感し、もっと自分の会社を良くしてもらいたい」。



株式会社ワクフリ

〒812-0038 福岡市博多区祇園町8-13
第一プリンスビル1F
TEL 092-600-4200
<https://wakufuri.com/>